



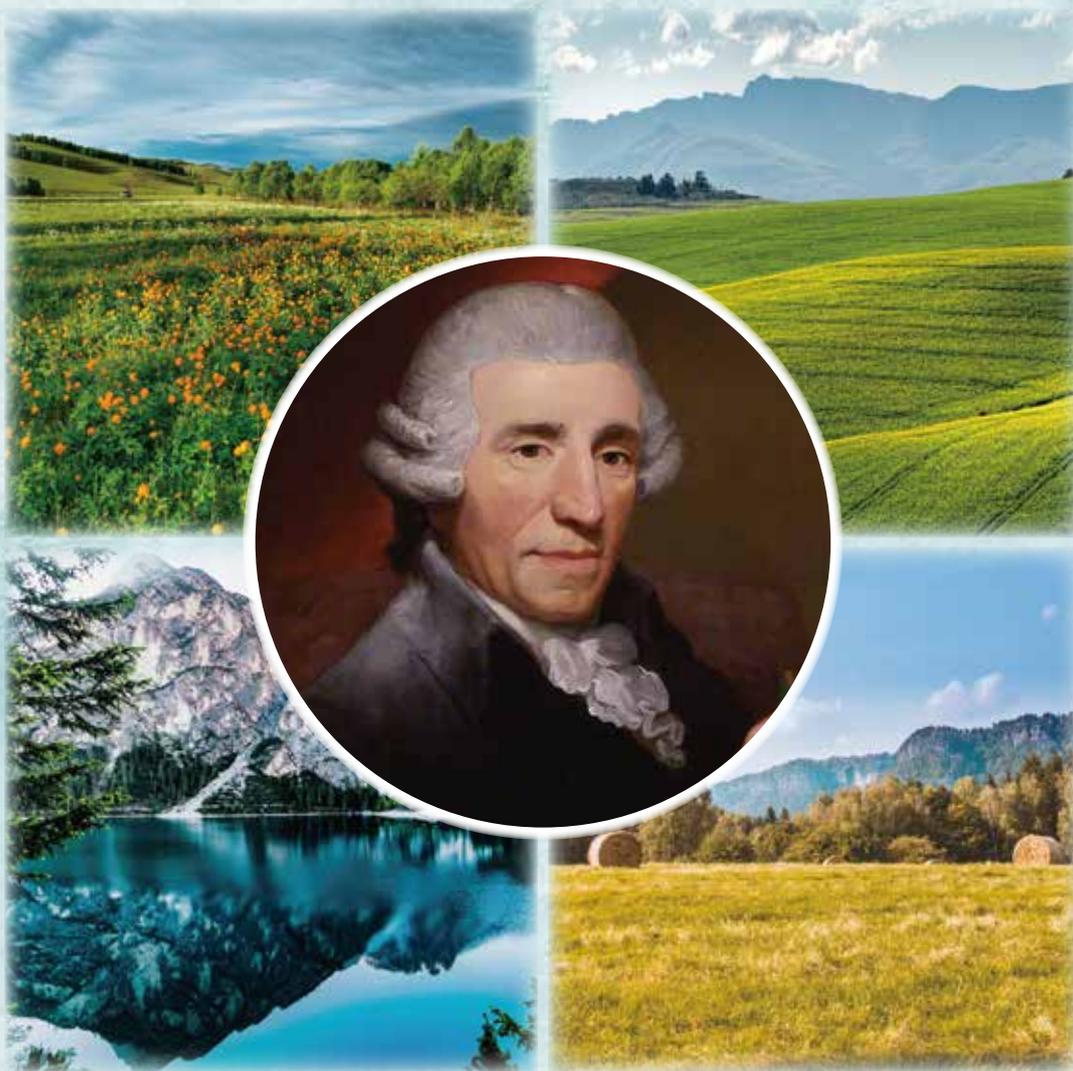
湘南フィルハーモニー合唱団

創立40年記念 第31回演奏会

J. ハイドン オラトリオ

四季

Joseph Haydn “DIE JAHRESZEITEN” Hob. XXI: 3



2025年3月15日(土) ミューザ川崎シンフォニーホール
開演 17:30 (17:00 開場)

松村 努 指揮 湘南フィルハーモニー合唱団

隠岐彩夏(ソプラノ) 櫻田 亮(テノール) 青山 貴(バス) グロリア室内オーケストラ

世界規模で異常気象が進み、

美しかった日本の「四季」も

次第に色褪せていくのを感じます。

せめて今宵はハイドンが二百数十年前に描いた
「四季」の彩りを皆さまにお届けできれば幸いです。



指揮：松村 努

(湘南フィルハーモニー合唱団音楽監督)

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。指揮を黒岩秀臣、ヘルムート・リリンク両氏に師事。ルネサンスから現代までの宗教作品を中心に取り組み、東京、神奈川を中心に12の合唱団を指導。全日本合唱コンクールでは「Combinir di Corista」を率い、全国大会6大会連続で最高賞の文部科学大臣賞を受賞。また海外での演奏経験も豊富である。大小を問わず、合唱団の魅力を最大限に引き出す指導力と音楽性に定評がある。

J. ハイドン オラトリオ「四季」

『天地創造』と並ぶヨーゼフ・ハイドン(1732～1809)晩年の傑作オラトリオ。初演は1801年。「春」「夏」「秋」「冬」の四部で構成され、第一部の「春」が9曲、第二部の「夏」が10曲、第三部の「秋」が11曲、第四部の「冬」が11曲の全41曲からなる。台本は『天地創造』を手掛けたスウィーテン男爵によるもので、スコットランドの詩人ジェイムズ・トムソンの叙事詩“The Seasons”のドイツ語訳をもとに、ハイドンが幼少期を過ごしたオーストリアの農村を舞台とする作品に仕上がっている。ドナウ川が流れるこの地域はオーストリアワインの生産地として知られており、貴族たちが狩猟を楽しんだウィーンの森の一角でもある。『天地創造』(初演1798年)では神の似姿として造られたアダムとエバ(イヴ)が愛と創造主への讃美を歌っているのに対し、その続編となる『四季』では楽園を追放された人間たちの世界が描かれ、小作人の農夫ジーモン(バス)、ジーモンの娘ハンネ(ソプラノ)、若い農夫ルーカス(テノール)の3人の登場人物が、ときに歌い手として、ときに語り手として、オーストリアの田園での暮らしや四季の美しさを高らかに歌いあげる。

湘南フィルハーモニー合唱団

1985年に発足した湘南フィルハーモニー合唱団は、2025年に創立40年を迎えます。「湘フィル」の愛称で長年親しまれる当団は、音楽監督の松村努の指導のもと、着実に実力をつけ、1～1年半ごとにドイツ語やラテン語の大宗教曲等に挑み、その成果を演奏会で披露してきました。現在団員は140名。コロナ禍の3年間においても、感染対策を施しながら粘り強く活動を続け、団員一丸となって3回の演奏会(うち1回は他団との合同演奏会)を実現させました。

合唱団ホームページ
<https://sho-phil.com/>

チケット情報

全席指定 S席 ¥5,000 / A席 ¥4,000 / B席 ¥2,000

<https://pia.jp/>



- チケットぴあ(Pコード 285-197)
- ミュゼ川崎シンフォニーホールチケットセンター
(TEL 044-520-0200)



湘南フィルハーモニー合唱団 団員募集

合唱指導：松村 努

練習日時：原則毎週土曜日 18:00～21:00

練習会場：横浜市内のホール

(神奈川公会堂、男女共同参画センター横浜フォーラム〈戸塚〉など)

募集開始：2025年3月16日から見学受付

詳しくは合唱団ホームページ <https://sho-phil.com/recruit/>

